

第3回 ソイタウンバドミントンキャンプ2019報告書

特定非営利活動法人アルファバドミントンネットワーク



【イベントの目的】

地域のバドミントン選手、愛好家を対象に、大人から子どもまでがレッスンを通じてバドミントン競技を学び、集える機会を提供する。

【内 容】

各世代、目的別のレッスンや講演会をワークショップ形式で展開した。

実施日：2019年12月7日（土）

場所：野田市関宿総合公園体育館

延べ参加者数：168名

スタッフ：20（ワークショップ講師・指導者及び運営スタッフ）

25名（サポートの高校生）

【各ワークショップ概要】

①ジュニアレッスン

講師：後藤秀徳氏 他

対象：小学生、中学生

サブアリーナにて 午前の部 9:30～12:30 午後の部 13:30～16:30

参加者：午前の部 30名 午後の部 23名

参加費：500円

初心者、初級者、中級者に分かれた。午前の部は高校生をヒッティングパートナーとして基本ストロークを学んだ。午後の部はレベル別にゲーム練習を中心に行った。

②レディースダブルスレッスン

講師：梅野尾悦子氏他

対象：女性

メインアリーナ 8面 9:30～12:30

参加者：35名

参加費：1000円

梅野尾悦子氏指導の下、西武台千葉高校バドミントン部員がヒッティングパートナーを務め、基本ストローク練習、パターン練習を繰り返し広げた。途中で途切れない長いラリーを繰り返し経験しながら、充実した強度の高いパターン練習が行われた。講師から技術指導のみならず練習や競技そのものへの取り組みについての言及が多々あった。

③アスリート強化レッスン

講師：岡安満他

対象：中学生以上

メインアリーナ 8 面 13:30 ～ 16:30

参加者：45 名

参加費：1000 円

岡安満氏指導の下、高校生がヒッティングパートナーとなり、西武台千葉高校バドミントン部の通常の鍛錬期に行うダブルスの各種ノック練習を体験した。その後ゲームができるまで発展させた。

④ 講演会

講師：白井巧

講義室 10:30 ～ 12:00

参加者：35 名

参加費 無料

「バドミントン de 世界とつながる」をテーマに、青年海外協力隊を通じたバドミントンの国際貢献のあり方を体験談を交え講義した他、参加者同士による交流実践プログラムが行われた。

【参加者数-地域別、カテゴリー別】 延べ 168名

第2回ソイタウンバドミントンキャンプ参加者数

	野田市内	他千葉県	千葉県合計	埼玉県	茨城県	神奈川県	東京	合計
①ジュニア	5	18	23	26	4	0	0	53
②レディース	22	8	30	5	0	0	0	35
③アスリート	5	6	11	5	17	11	1	45
④講演会	9	0	9	0	16	9	1	35
合計	41	32	73	36	37	20	2	168

【進行】

8:45 開場、スタッフ集合

8:50 受付

9:30～12:30 ワークショップ午前の部

12:30～13:30 休憩

13:30～16:30 ワークショップ午後の部

16:30～17:00 片付け

【収支報告】

収支報告

収入の部

費目	金額	備考
参加費	88500	
団体自己資金	64939	
助成金	100000	ヨネックススポーツ振興助成
協賛金	109000	野田市パドミントン協会他
収入計	362439	

支出の部

費目	金額	内訳
シャトル	151200	エアロセンサ400 40ダース
会場設営費	41210	
印刷費	26750	チラシ2000枚、プログラム200枚他
保険	2200	
弁当	32755	
謝金	72800	高校生はシャトルによる現物支給
参加賞	6691	米は団体手持ち分により無料
雑費	14685	文具等消耗品、送料、土産
会議費	14148	準備作業時茶菓、懇親会補助費
支出計	362439	

差し引き 0円

【総評】

各レッスン毎に参加者の課題に応じた独自のメニューを展開し、それぞれに充実した活動が行われた。年齢やレベルに応じた技術や戦術指導により、地域の競技力向上に寄与できたものと評価できる。さらに、参加者同士の交流やスタッフとして参加した西武台千葉高校バドミントン部員との交流を深めることができ、青少年の体験活動としても評価できる。

アスリート強化レッスンは、西武台千葉高校の練習が体験できると好評である。全国大会と日程が重なり、予定していた講師変更余儀なくされた。不測の事態であったが、団体メンバーのサポートで予定していたプログラムを提供することができた。

参加申し込みを先着受付とした。アスリート強化レッスンやジュニアレッスンは10月1日受け付け開始から1週間ほどで定員となった。募集終了後も参加希望が相次いだ。3年連続講師を務める梅野尾悦子氏の指導を心待ちにするリピーターが多いことや、昨年度に引き続き行われた白井巧氏による途上国支援に関する講演会への関心の高まりから伺えるように、各レッスンや講演会を一過性のイベントとして行うのではなく、講師やテーマに連続性、継続性を持たせ、レッスン内容等を発展、充実させていくことが肝要である。

参加賞に団体が収穫した米の他、以前より交流のある団体から譲り受けたサンタクロースの衣装を配布し参加者に好評であった。